

1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り(表1、表2)。

でん粉の需給見通し

【令和4でん粉年度(見込み)】

需要量：246万トン(前年度比2.4%増)

供給量：246万8000トン(同1.9%増)

【令和5でん粉年度(見通し)】

需要量：248万2000トン(同0.9%増)

供給量：249万4000トン(同1.1%増)

表1 でん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和3でん粉年度 (実績)	令和4でん粉年度 (見込み)		令和5でん粉年度 (見通し)				
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,612	784	884	1,668	791	900	1,691	
	化工でん粉	269	125	125	249	127	125	251	
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	521	265	277	543	266	274	540	
	合計	2,402			2,460			2,482	
供給	前年度繰り越し	40			21			8	
	国産いもでん粉(生産量)	171	168	—	168	173	—	173	
		かんしょでん粉	21	15	—	15	15	—	15
		ばれいしょでん粉	150	153	—	153	158	—	158
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,052	1,006	1,112	2,117	1,011	1,130	2,141
		輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	134	61	72	134	69	72	141
	輸入でん粉(その他用)	11	6	8	14	8	8	16	
	小麦でん粉	16	7	7	15	7	7	15	
	合計	2,423			2,468			2,494	
	次年度繰り越し	21			8			12	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和5年10月～令和6年3月 (見込み)			令和6年4月～9月 (見通し)			令和5でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	3	12	15	3	11	14	7	22	29
		化工でん粉	1	16	17	0	11	11	2	27	29
		その他	3	23	26	3	23	26	6	46	52
		小計	8	51	58	6	44	51	14	95	109
	その他の用途	0	30	30	0	31	31	0	60	60	
	計	8	80	88	6	75	81	14	155	169	
供給	前期からの繰り越し	2	6	8	10	84	94	2	6	8	
	生産量	15	158	173	0	0	0	15	158	173	
	計	17	164	182	10	84	94	17	164	182	
次期への繰り越し			10	84	94	3	9	12	3	9	12

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用飼料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

(1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

【糖化用向けでん粉の需要量】

令和4でん粉年度は、前年度からやや増加する見込み

令和4でん粉年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が一部見込まれるものの経済活動の回復に伴い緩やかに需要が増加すると見込まれ、清涼飲料および土産需要などが増加することから、前年度を5万6000トン上回る166万8000トンと見込まれる。

5でん粉年度は、酒税法改正に伴う発泡酒などの需要の減少が見込まれるものの、外出機会の増加やインバウンド需要の回復に伴い清涼飲料需要などが増加することから、前年度を2万3000トン上回る169万1000トンと見通している。

【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

令和4でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少する見込み

令和4でん粉年度は、主に製紙メーカーの原料変更の影響などにより、前年度を2万トン下回る24万9000トンとなった。

5でん粉年度は、業務用加工食品向け需要が増加することから、前年度を2000トン上回る25万1000トンと見通している。

【その他用途向けでん粉の需要量】

令和4でん粉年度は、前年度からやや増加する見込み

令和4でん粉年度は、主に製紙メーカーの原料変更の影響などにより、前年度を2万2000トン上回る54万3000トンと見込まれる。

5でん粉年度は、酒税法改正に伴うビール需要の増加が見込まれるものの、通販向け需要の減少により段ボール需要の減少が見込まれることから、前年度を3000トン下回る54万トンと見通している。

(2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

【かんしょでん粉の生産量】

令和4でん粉年度は、前年度から大幅に減少する見込み

令和4年産でん粉原料用かんしょの生産量は、産地でのサツマイモ基腐病^{もどぐされ}発生の影響に加え、他用途向けとの原料の競合の影響により減少し、かんしょでん粉の生産量は、前年度を6000トン下回る1万5000トンと見込まれる。

5年産については、引き続きサツマイモ基腐病の発生があり、産地からの原料いもの作付けに関する情報を踏まえ、かんしょでん粉の生産量は前年同の1万5000トンと見通している。

【ばれいしょでん粉の生産量】

令和4でん粉年度は、前年度からわずかに増加

令和4年産でん粉原料用ばれいしょの生産量は、北海道における作付面積の拡大により、増加したことから、ばれいしょでん粉の生産量は前年を3000トン上回る15万3000トンと見込まれる。

5年産については、干ばつ気味ではあるものの、天候に恵まれ平年よりも生育が早く進んでいることから、ばれいしょでん粉の生産量は前年を5000トン上回る15万8000トンと見通している。

【コーンスターチの供給量】

令和4でん粉年度は、前年度からやや増加

令和4年度は、COVID-19の影響が一部見込まれるものの、経済活動の回復に伴い緩やかに需要が増加すると見込まれ、清涼飲料および土産需要などが増加することから、4でん粉年度の供給量はでん粉ベースで前年度を6万5000トン上回る211万7000トンと見込まれる。

5年度は、外出機会の増加やインバウンド需要の

回復に伴い清涼飲料およびビール需要などが増加することから、前年度を2万4000トン上回る214万1000トンと見通している。

【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用）

令和4でん粉年度は、前年同

令和4でん粉年度は、需要の大きな動きはないことから、前年度並みの13万4000トンと見込まれる。

5でん粉年度も、行動制限解除に伴う外出機会の増加による清涼飲料向け需要が増加することから、前年度を7000トン上回る14万1000トンと見通している。

【輸入でん粉の供給量】（その他用）

令和4でん粉年度は、前年度から大幅に増加

令和4でん粉年度は、業務用加工食品向け需要の回復により、前年度を3000トン上回る1万4000トンと見込まれる。

5でん粉年度は、引き続き需要が回復することから、前年度を2000トン上回る1万6000トンと見通している。

【小麦でん粉の供給量】

令和4でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、令和4でん粉年度は近年の需要に応じた製造がされるものとして、前年度を1000トン下回る1万5000トンと見込まれる。

5でん粉年度についても、同程度の供給がなされるものとして、前年同の1万5000トンと見通している。

2 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

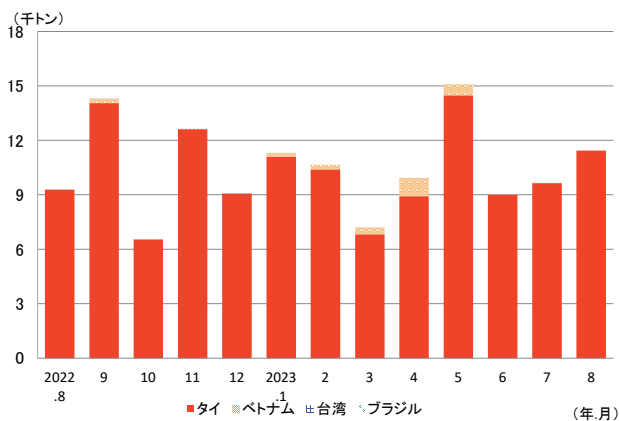
8月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2023年8月のタピオカでん粉の輸入量は、1万1452トン（前年同月比22.9%増、前月比18.5%増）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナムおよびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

タイ	1万1439トン
	（前年同月比23.1%増、前月比18.6%増）
ベトナム	7トン
	（同43.4%減、同2.8倍）
ブラジル	5トン
	（同2.9倍、同6.0倍）

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

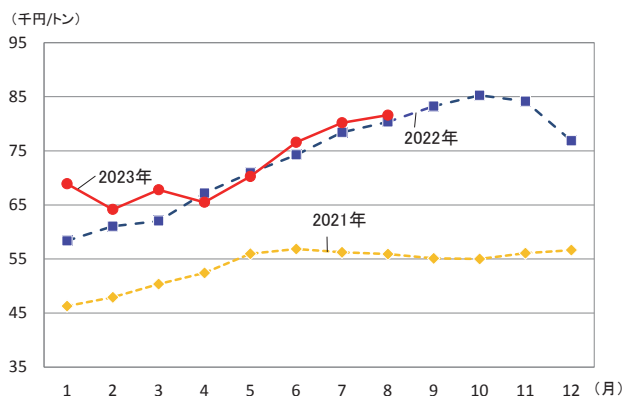
2023年8月の1トン当たりの輸入価格は、8万1601円（前年同月比1.6%高、前月比1.8%高）と、前年同月をわずかに上回った（図2）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	8万1338円
	（前年同月比2.0%高、前月比2.4%高）

ベトナム	17万4376円
	（同21.1%安、同3.0%高）
ブラジル	50万9378円
	（同39.7%高、同20.4%安）

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

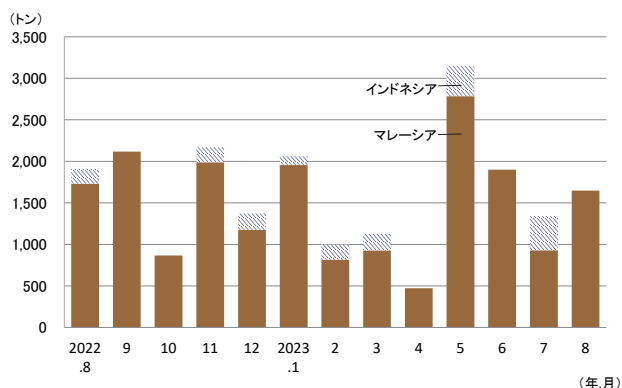
8月の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2023年8月のサゴでん粉の輸入量は、1647トン（前年同月比13.8%減、前月比22.7%増）と、前年同月からかなり大きく減少した（図3）。

輸入先はマレーシアのみで、輸入量は次の通りであった。

マレーシア	1647トン
	（前年同月比4.8%減、前月比77.5%増）

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

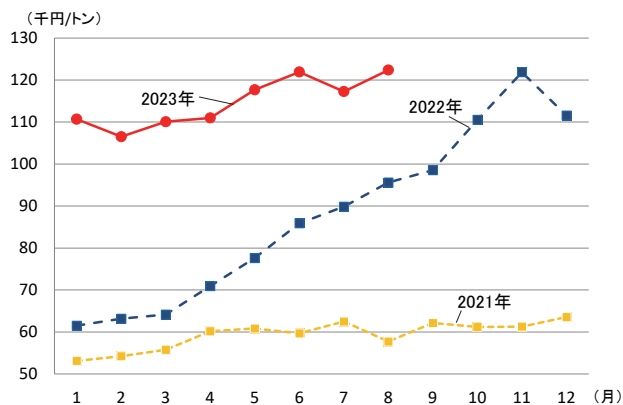
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2023年8月の1トン当たりの輸入価格は、12万2383円（前年同月比28.0%高、前月比4.4%高）と、前年同月を大幅に上回った（図4）。

1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 12万2383円
（前年同月比25.7%高、前月比0.9%高）

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

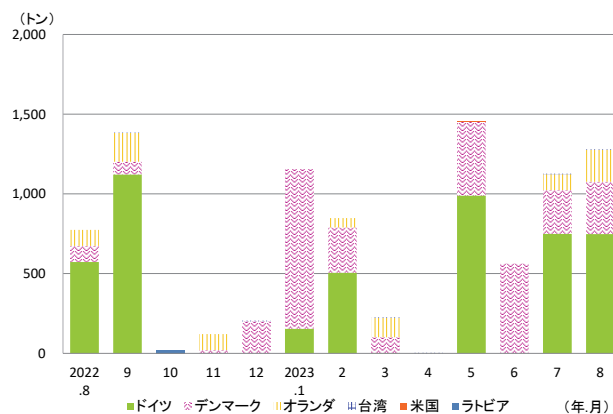
8月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2023年8月のばれいしょでん粉の輸入量は1279トン（前年同月比65.3%増、前月比13.6%増）と、前年同月から大幅に増加した（図5）。

輸入先はドイツ、デンマーク、オランダおよび台湾で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

ドイツ 748トン
（前年同月比30.8%増、前月比0.2%減）
デンマーク 328トン
（同3.2倍、同19.7%増）
オランダ 200トン
（同2.0倍、同2.0倍）
台湾 3トン
（前年同月輸入実績なし、同12.5%増）

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

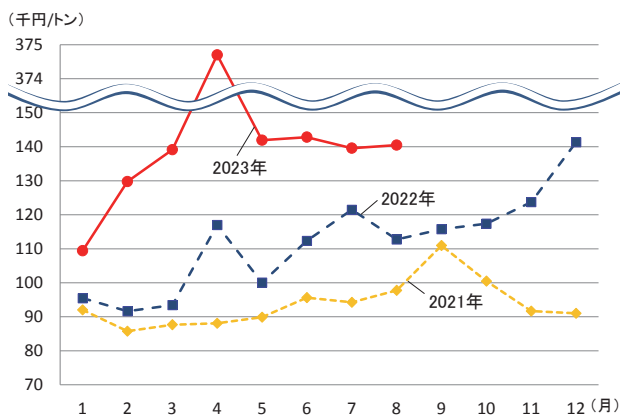
2023年8月の1トン当たりの輸入価格は、14万462円（前年同月比24.6%高、前月比0.6%高）と、前年同月を大幅に上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ドイツ 13万5882円
（前年同月比19.1%高、前月比0.5%高）

デンマーク	14万8637円
	(同43.4%高、同1.2%安)
オランダ	13万9924円
	(同22.4%高、同3.5%高)
台湾	40万3395円
	(前年同月輸入実績なし、同0.7%安)

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

8月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2023年8月のでん粉誘導体の輸入量は、2万9750トン（前年同月比26.8%減、前月比15.6%減）と、前年同月から大幅に減少した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先は15カ国・地域で、最大

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量(8月)

輸入先国	輸入量(トン)	シェア
合計	29,750	100.0%
うち タイ	21,385	71.9%
ベトナム	2,331	7.8%
デンマーク	1,542	5.2%
スウェーデン	852	2.9%
フランス	778	2.6%
米国	631	2.1%

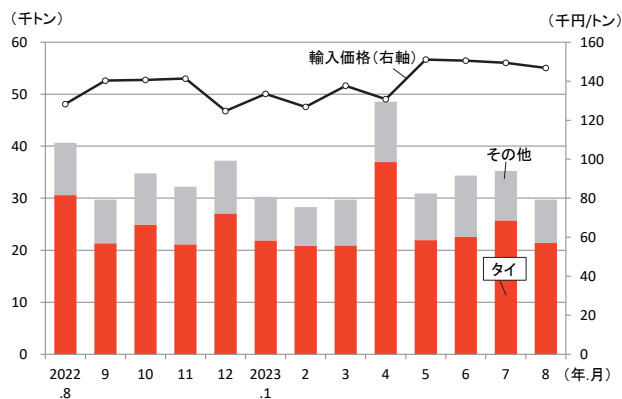
資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている（表3）。

2023年8月の1トン当たりの輸入価格は、14万6748円（前年同月比14.4%高、前月比1.8%安）と、前年同月をかなり大きく上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

8月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2023年8月のデキストリンの輸入量は、1428トン（前年同月比19.4%減、前月比0.7%減）と、前年同月から大幅に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先は9カ国・地域で、上位輸入先の輸入量および各国のシェアも含め、月ごとの

表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量(8月)

輸入先国	輸入量(トン)	シェア
合計	1,428	100.0%
うち タイ	797	55.8%
ベトナム	224	15.7%
ドイツ	178	12.5%
米国	66	4.6%
オランダ	64	4.5%
中国	45	3.1%

資料：財務省「貿易統計」

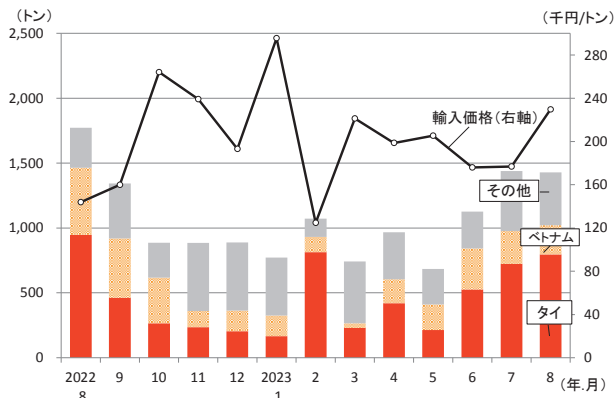
注：HSコード3505.10-200

変動が大きい。

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の約7割を占めている（表4）。

2023年8月の1トン当たりの輸入価格は、22万9629円（前年同月比59.6%高、前月比29.9%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

**【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】
8月の輸入量は前年同月からかなりの程度減少**

財務省「貿易統計」によると、2023年8月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、24万5387トン（前年同月比10.4%減、前月比17.4%減）となり、前年同月からかなりの程度減少した（図9）。

輸入先は、米国、南アフリカ、ブラジルおよびアルゼンチンで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

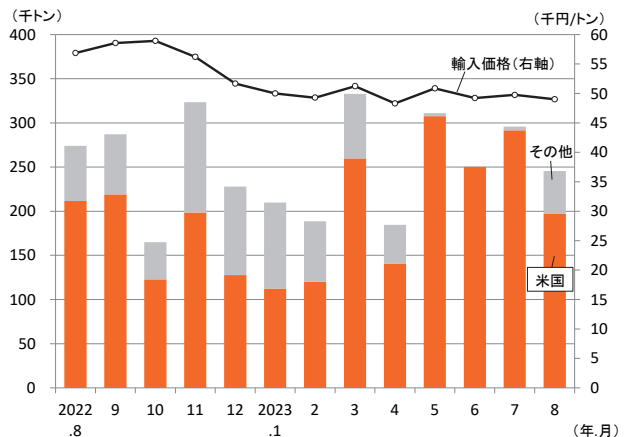
- 米国 19万6863トン
（前年同月比7.0%減、前月比32.9%減）
- 南アフリカ 3万8122トン
（同38.9%減、同9.5倍）
- ブラジル 8685トン
（前年同月および前月輸入実績なし）
- アルゼンチン 1717トン
（前年同月および前月輸入実績なし）

2023年8月の1トン当たりの輸入価格は、4万9009円（前年同月比13.8%安、前月比1.5%安）と、前年同月をかなり大きく下回った。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- 米国 4万9058円
（前年同月比15.1%安、前月比1.5%安）
- 南アフリカ 4万9392円
（同8.3%安、同5.6%高）
- ブラジル 4万7182円
（前年同月および前月輸入実績なし）
- アルゼンチン 4万4067円
（前年同月および前月輸入実績なし）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091